

一般社団法人 日本心エコー図学会

心エコー図による左室壁運動異常報告時の 左室分画の名称についてのステートメント

執筆者

大阪市立総合医療センター 循環器内科 阿部 幸雄

監修

心エコー図ガイドライン作成委員会

委員長	大倉 宏之	岐阜大学大学院医学系研究科 循環器内科学
副委員長	平野 豊	近畿大学医学部関西国際空港クリニック
委員	天野 雅史	国立循環器病研究センター 心不全移植部門
委員	岩野 弘幸	手稲溪仁会病院
委員	梅田 ひろみ	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
委員	大原 貴裕	東北医科薬科大学 老年・地域医療学
委員	小保方 優	群馬大学大学院医学系研究科 循環器内科学
委員	鍵山 暢之	順天堂大学, 医学部循環器遠隔管理学講座
委員	大門 雅夫	東京女子医科大学 循環器内科
委員	田中 秀和	神戸大学大学院 循環器内科学
委員	杜 徳尚	岡山大学 循環器内科

要旨：

- 1) 左室局所壁運動評価を行う際の左室 16 分画(もしくは 17 分画)の呼称として新呼称「前壁, 前壁中隔, 下壁中隔, 下壁, 下側壁, 前側壁」を用いることを推奨する。
- 2) しかし, 左室長軸像で壁厚を計測する際の「後壁厚」, あるいは, 「後壁梗塞」といった用語の使用を否定するものではない。

解説：

左室の局所壁運動異常を評価する際, アメリカ心エコー図学会 (ASE) が推奨した左室 16 分画が伝統的に用いられてきた¹⁾。前壁, 前壁中隔, 中隔, 下壁, 後壁, 側壁の 6 つの壁を基部, 中部, 心尖部の 3 つのレベルに分け, 心尖部については 6 つではなく 4 つの壁 (心尖部前壁, 心尖部中隔, 心尖部下壁, 心尖部側壁) と合計 16 分画に分ける方法である。しかし, 2002 年米国心臓協会 (AHA) が, 心筋シンチグラフィや MRI といった他の画像検査と統一して標準化したほうがよいからという理由で新たに心尖部 (apical cap) を加えた 17 分画モデル²⁾が提唱されるとともに, 分画の呼称を修正することが提唱された²⁾。前壁→そのまま, 前壁中隔→そのまま, 中隔→下壁中隔, 下壁→そのまま, 後壁→下側壁, 側壁→前側壁という修正, すなわち, 基部と乳頭筋位 (中部) を前壁, 前壁中隔, 下壁中隔, 下壁, 下側壁, 前側壁の 6 つに分けるべきとの提唱だった。その後 ASE のガイドライン (心腔定量ガイドライン, 2005 年; 同ガイドライン, 2015 年改訂版)^{3,4)}, 日本循環器学会のガイドライン (慢性冠動脈疾患診断ガイドライン, 2018 年改訂版)⁵⁾もそれに従うようになった。また, 2025 年 5 月に調査した時点で心エコー図機器メーカ 5 社 (国産メーカ 2 社, 海外メーカ 3 社) の全ての左室壁運動評価アプリケーションで新呼称が用いられている。

しかし日本心エコー図学会代議員で行った本邦でのアンケート調査の結果, 最新のガイドラインどおりに呼称を変更している施設ばかりではなく, 旧呼称を使用している施設や新旧呼称を併記している施設もあり, また, 同一施設内で混用していることもあるなど現場で混乱をきたしていることがわかった。そこで今後どう呼ぶべきかについて日本心エコー図学会理事会で議論を行い, 臨床的, および, 学術的にも, 世界標準の用語を使用すべきと判断し, 新呼称の使用を推奨することに決定した (表 1, 図 1)。

もっとも, 「後壁」という用語が全く消失したわけではない。2018 年に AHA や米国心臓病学会 (American College of Cardiology, ACC), 欧州心臓病学会 (European Society of Cardiology, ESC) などから合同で出された心筋梗塞の fourth universal definition というガイドラインにおいて「後壁梗塞」とは過去に使用されていた用語だと記載されている一方, 2025 年に AHA や ACC などから合同で出された急性冠症候群に関するガイドラインでは従来どおり「後壁梗塞」という用語が使用されており, エキスパートの間でも統一されていないことがわかる^{6,7)}。2025 年の ASE の心エコー図レポートガイドラインでは, 左室局所壁運動を評価する際には新呼称が記載されているが, 左室長軸像で壁厚を計測する際には従来通り「後壁厚 (posterior wall thickness, PWT)」という用語が用いられている⁸⁾。したがって本ステートメントは, 「後壁」という用語の使用を完全に否定するものではなく, あくまで, 左室局所壁運動を評価する際における新呼称の使用を推奨するものである。

※16分画と17分画のいずれを用いるかについて：心筋灌流評価では17分画モデルが用いられるがルーチンの壁運動評価では16分画でよい^{4,5)}。

日本語		英語	
旧呼称	新呼称	旧呼称	新呼称
前壁	前壁	anterior	anterior
前壁中隔	前壁中隔	anteroseptal	anteroseptal
中隔	下壁中隔	septal	inferoseptal
下壁	下壁	inferor	inferor
後壁	下側壁	posterior	inferolateral
側壁	前側壁	lateral	anterolateral

表1 左室16分画モデルの旧呼称と新呼称

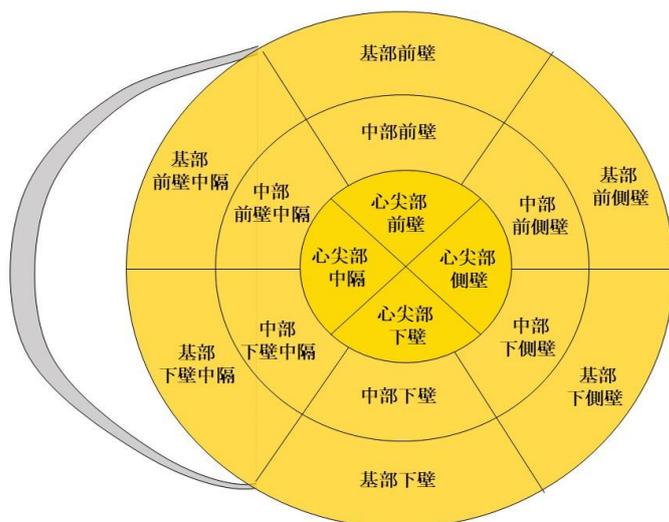


図1. 左室分画の新呼称 中部は乳頭筋位と表現される場合もある。

参考文献：

- 1) Schiller NB, Shah PM, Crawford M, et al. Recommendations for quantitation of the left ventricle by two-dimensional echocardiography: American Society of Echocardiography committee on standards, subcommittee on quantitation of two-dimensional echocardiograms. *J Am Soc Echocardiogr.* 1989;2:358-67.
- 2) Cerqueira MD, Weissman NJ, Dilsizian V, et al. Standardized myocardial segmentation and nomenclature for tomographic imaging of the heart. *Circulation.* 2002;105:539-42.
- 3) Lang RM, Bierig M, Devereux RB, et al. Recommendations for chamber quantification: a report from the American Society of Echocardiography's guidelines and standards committee and the chamber quantification writing group, developed in conjunction with the European Association of Echocardiography, a Branch of the European Society of Cardiology. *J Am Soc Echocardiogr.* 2005;18:1440-63.
- 4) Lang RM, Badano LP, Mor-Avi V, et al. Recommendations for cardiac chamber quantification by echocardiography in adults: an update from the American Society of Echocardiography and the European Association of Cardiovascular Imaging. *J Am Soc Echocardiogr.* 2015; 28: 1-39.e14.
- 5) 山岸正和, 玉木長良ほか. 日本循環器学会, 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン (2018 年改訂版). https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2018/10/JCS2018_yamagishi_tamaki.pdf (2026 年 1 月 1 日参照).
- 6) Thygesen K, Alpert JS, Jaffe AS, et al. Fourth Universal Definition of Myocardial Infarction (2018). *Circulation.* 2018;138:e618-51.
- 7) Rao SV, O'Donoghue ML, Ruel M, et al. 2025 ACC/AHA/ACEP/NAEMSP/SCAI Guideline for the management of patients with acute coronary syndromes: a report of the American College of Cardiology/American Heart Association joint committee on clinical practice guidelines. *Circulation.* 2025;151:e771-862.
- 8) Taub CC, Stainback RF, Abraham T, et al. Guidelines for the standardization of adult echocardiography reporting: recommendations from the American Society of Echocardiography. *J Am Soc Echocardiogr.* 2025;38:735-74.